

道の駅あびら D51 ステーションのオープンに向けて ～町の動きをお伝えします～



道の駅あびら D51 ステーション 鳥瞰図

多くの来場者を集めた「菜の花さんぽ 2018」

6月2日(土)～3日(日)の2日間、一般社団法人あびら観光協会主催による「菜の花さんぽ 2018」が開催されました。

昨年「菜の花ドライブ」などを目玉に、地域おこし協力隊のみなさんの発案で初開催されたこの催しですが、協力者の輪が広がった今年は「菜の花かふえ」「菜の花お茶会」「菜の花フットパス」「菜の花写真館」「菜の花スタンプラリー」などの新たな企画が加わり、規模を拡大しての開催となりました。これにより、メイン会場の鹿公園駐車場だけで5,500人ももの来場者を集める盛況な結果となりました。

このイベントでは、「町内回遊の仕組みづくり」が目標の1つとして掲げられていました。そのため、トイレや駐車場を完備する鹿公園をメイン会場とし、また、個別の菜の花畑をサテライト会場として各企画が行われましたが、当初の目標どおり、メイン会場から各畑を目指す方々や、複数の菜の花畑に足を運ぶ来訪者の姿が多く見られました。

また、町内9つの飲食店に季節限定の菜の花メニューを設定していただいたところ、期間中の各店への来訪者が増加したほか、国道沿線の店舗に立ち寄る車両も増加傾向にありました。

このように、今回のイベントでは、1つの目的をきっかけに複数箇所に立ち寄る来訪者の動向がうかがえました。来春、「あびら D51 ステーション」開業後は、道の駅が特産品や観光情報、各種催しの集結拠点となります。町の玄関口として、来訪者に新たな安平町の魅力を感じていただくとともに、町内ファンの獲得につなげることができるよう、今回の菜の花イベントの成果を参考に取り組みを進めていきたいと考えています。



トラクターと幌馬車で畑を回る「菜の花ドライブ」

農産物直売所の運営に向けた取り組み

6月22日(金)に、道の駅あびら D51 ステーション生産者協議会による「直売生産者向け講習会」および「道の駅農直施設の内覧会」が行われました。

前半に行われた講習会では、胆振農業改良普及センターの八重樫主査を講師に招き、お客様ニーズに沿った新鮮・安心・安全な商品を提供するために必要な点などに関する講話を聞きました。顔が見えて安心・安全とされている農産物直売所を作り上げるためには、農薬の適正使用など生産者責任とリスク管理が重要との講師の助言に、参加した20名は熱心に耳を傾けていました。

また、講習会終了後は、道の駅建設現場に移動し、建設途中の農産物直売所施設を見学しました。木造の農直施設内部は、既に電気機材や照明の設置まで終え、オープン時に近い状況だったため、参加したメンバー間では、棚の配置やお客様の動きなど、営業を想定したイメージの共有が図られていました。

同協議会では、今後、道の駅農産物直売所のPRを兼ねた催しを行います。

7月7日(土)～8日(日)は、「第10回あびら夏! うまかまつり」の会場内で、2日間にわたる野菜即売会を行いますので、みなさんぜひお立ち寄りください。



建設中の農産物直売所を見学

この記事に関する問合せ

地域推進課 道の駅経営推進グループ ☎7083